

総務文教常任委員会活動レポート

開催日：令和5年6月21日(水)

開催場所：1・2号委員会室

6月定例会提出の議案について審査し、担当部局から個別の案件ごとに説明を受け、質疑、協議、申し入れなどを行いました。

総務部

1. 大学交流推進事業について

大学のゼミやサークル等の学生を積極的に中標津町に招き、住民との交流活動などを通じて、次世代を担う地域の人材育成や交流人口・関係人口増加を図ることを目的とする事業です。

当初予算2件で50万円のところに3件の申し込みがあったため、6月定例会にて25万円の補正予算が計上されました。

各事業の概要は以下のとおりです。

①中央コンピューターサービス（株）（申請見込額25万円）

全国の大学から5名程度募集し、町内でのフィールドワークを通して地域課題の解決策を検討、発表会を行う「ミチシロカ in 北海道中標津」を開催。

②小樽商科大学（申請見込額25万円）

小樽商科大学と道外大学が連携し、町内や周辺地域でフィールドワークを行い、課題発見や解決策の検討、さらに発展させてビジネスアイデアの着想に至るプロセスを学ぶ取り組みを実施。

③旭川市立大学（申請見込額15万円）

旭川市立大学の看護学科の学生4～5名が、町立中標津病院での現場実習を行う他、病院の現役看護師や将来看護師を目指す高校生との座談会を行う。

【主な質疑】

委員：①、②のフィールドワークは、どのような内容を想定していますか？

担当：①は学生の自主性を重んじて、こちらからテーマを絞らず学生が農家や店舗を訪れ聞き取りを行い考えていくものです。②はビジネスに関するアイデアを出すフィールドワークになります。

委員：②のフィールドワークは時期をずらして3回実施予定になっていますが、同じ学生が行いますか？また、町内向けの発表会は3回分をまとめて行いますか？

担当：フィールドワークは、9月上旬の1回のみで、農高生との交流も考えています。12月は練り上げてオンライン上で発表し、最終報告は2月から3月で、中標津町で発表をします。

委員：多くの町民に、その成果を聞いてもらえるように工夫をしてください。

教育委員会

1. 社会教育施設費・施設改修工事費について

文化会館（しるべつと）の大ホール上部を中心に雨漏りがあり、修繕費として779万9千円が補正予算に計上されました。

【主な質疑】

委員：文化会館の雨漏りの原因と修繕内容について教えてください。

担当：文化会館、主に大ホールで、昨年秋ごろから雨漏りがあるとの報告が施設管理者からありました。昨年は予算の確保が難しく先送りにしていました。今年、春の大雨で、別の部分からの雨漏りが見つかり緊急性が高まったこともあり、今回の補正となりました。内容は現在6か所確認されている雨漏り対策工事となります。原因は施設の老朽化によるもので外壁が傷みひび割れし、風雨の向きにより雨漏りが発生している状況です。（文化会館外壁のひび割れを示した写真が資料として提出されました）

2. 体育施設費・修繕料について

体育館1階ロビーの破損した窓ガラス補修のため、77万円が補正予算に計上されました。

【主な質疑】

委員：体育館玄関横のガラスの破損とのことですが、発生原因と補正予算額の内訳を教えてください。

担当：今年2月に清掃業者がガラスのひび割れを発見したと施設管理者から報告を受けました。原因は断定できないとのことですが、靴箱の上に置いたブルーシートが落下し、その留め金部分がガラスに当たってひびが入ったと考えられます。2月は雪があり修繕のための機械が入れなかったため、6月の補正予算に計上しました。経費はガラス代が25万円程度、残り52万円は工事費用及び工事業者が遠方から来るためにかかる経費となっています。

委員：破損個所は保険の適用になりますか？

担当：保険適用の対象となると考えています。修理が終わって保険請求をしてから査定額が算出されると思われます。